エコアクション21

環境経営レポート

対 象 期 間 2021年　7月　1日　　～　　2022年　6月 30日

発　行　日 2022年　9月　1日

株式会社ネクスト・オカモト

目　　次

１．組織の概要

２．対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

３．環境経営方針

４．環境管理組織体制

５．環境経営活動への取組の全体概要

６．環境経営目標

７．環境経営活動計画

８．環境経営目標の実績

９．環境経営活動計画の取組結果とその評価

１０．次年度の取組内容
（１）環境経営目標
（２）環境経営活動計画

１１．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

１２．代表者による全体評価と見直しの結果

１３．その他の取組

発行日：２０２２年　９月　１日
発行責任者：環境管理責任者
小野　晃司郎
次回発行予定：　２０２３年　９月　頃

１．組織の概要

【事業所名】　　株式会社　ネクスト・オカモト

【代表者氏名】　代表取締役　水田　太貴

【所在地】
　本社　　高知県高知市北金田10番3号

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】
環境管理責任者氏名　　装工事業部　小野　晃司郎
連絡先担当者　　装工事業部　小野　晃司郎
連絡先　　TEL:　　088-882-9000
　　FAX:　　088-882-8260
　　Ｅ－mail:　　next@next-okamoto.com

【事業活動の内容についての簡単な記述】
建築一式工事･内装仕上工事･大工工事

建設業許可
許可番号　　高知県知事　許可(特-3)第1961号
許可年月日　　令和　4年　2月28日
建設業の種類　建築工事業　大工工事業　左官工事業　とび･土工工事業　石工事業
　　屋根工事業　タイル･れんが･ブロック工事業　鋼構造物工事業
　　鉄筋工事業　板金工事業　ガラス工事業　塗装工事業　防水工事業
　　内装仕上工事業　熱絶縁工事業　建具工事業

一級建築士事務所　　高知県知事登録　948号

【事業規模】
設立年月日　　１９１９年（大正８年）
資本金　　２，０００万円

	２０２０年度	２０２１年度	２０２２年度
売上高　（万円）	257,000	190,300	222,650
従業員数　（名）	21	23	23
事業所敷地面積　（m2 ）	594	593.8	593.8
事業所延べ床面積（m2 ）	1,530	1529.6	1529.6

従業員数は、２０２２年　９月　１日現在

会計年度　　２０２１年　７月　～　２０２２年　６月

２．対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

株式会社　ネクスト・オカモト

本社　　高知市北金田10番3号（常駐者：23名）
倉庫
モデルハウス

対象事業：　　建築工事　大工工事　左官工事　とび・土工工事　石工事
屋根工事　タイル・れんが・ブロック工事　鋼構造物工事
鉄筋工事　板金工事　ガラス工事　塗装工事　防水工事
内装仕上工事　熱絶縁工事　建具工事

【レポートの対象期間】
２０２１年 ７月 １日　～　２０２２年 ６月３０日

【環境経営レポートの発行日】
２０２２年 ９月 １日

【作成責任者】
環境管理責任者　　小野　晃司郎

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

ＳＤＧｓＮＯ.	項目	当社対象有無	備　　考
1.	貧困をなくそう		オーガニック
2.	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3.	すべての人に健康と福祉を		高齢者雇用
4.	質の高い教育をみんなに		環境教育の実施
5.	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6.	安全な水とトイレをを世界中に		水道使用、節水、雨水利用
7.	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8.	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9.	産業と技術革新の基礎をつくろう		低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10.	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11.	住み続けられるまちづくりを	○	ＣＯ2 削減、エコドライブ
12.	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13.	気候変動に具体的な対策を	○	ＣＯ2 削減、省エネ、環境配慮工事
14.	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15.	陸の豊かさも守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16.	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17.	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

３．環境経営方針

【環境経営理念】
株式会社ネクスト・オカモトは、高知県高知市での建設工事を行っています。
地域の自然環境を守り、建設工事におけるあらゆる場面において環境保全を意識し、
継続的改善による環境経営を行っていきます。

【基本方針】
１．建設工事において、環境負荷の少ない工事（設計、施工）を行います。

２．トラック・重機・車輌の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減します。

３．事務所・現場における電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量を削減します。

４．建設工事及び事務所における廃棄物発生量の削減、再利用及びリサイクルを行います。

５．事務所における水使用量の削減により排水量を削減します。

６．建設現場における化学物質排出について配慮します。

７．事務用品及び調達資材のグリーン購入を推進します。

８．環境関連法規及び条例等を遵守します。

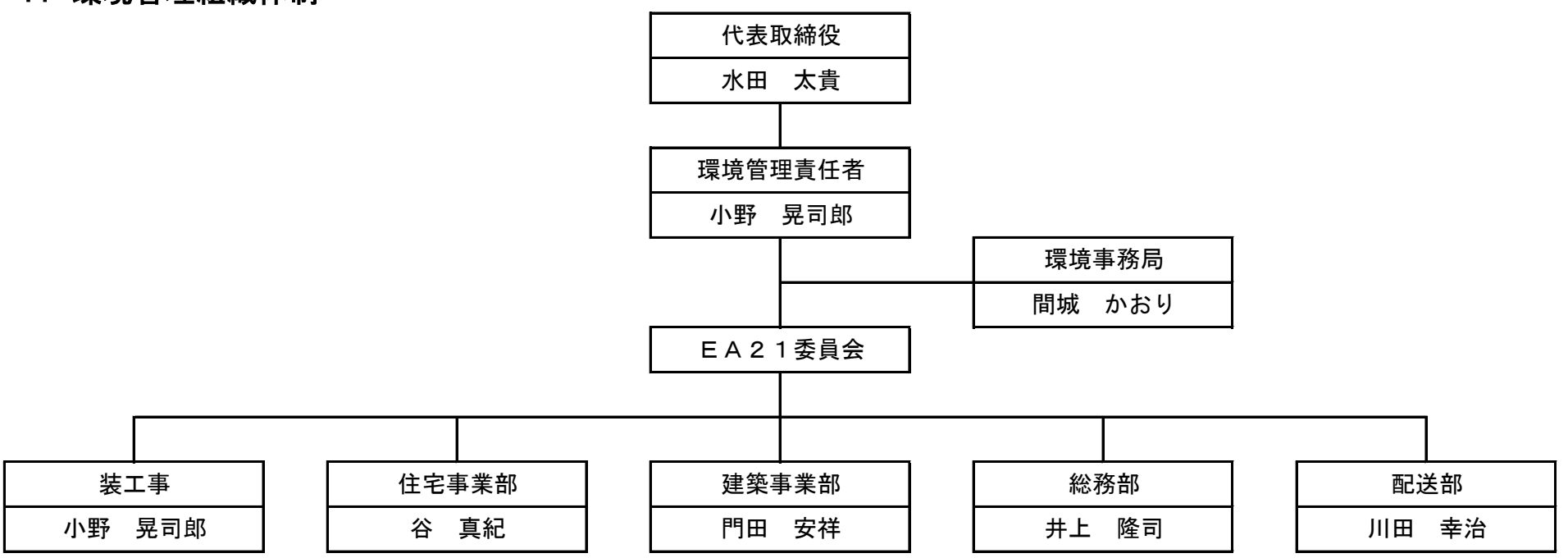
９．環境経営方針は広く従業員に周知徹底します。

１０．環境経営レポート等環境情報について広く外部公表いたします。

制定日　　平成23年8月1日
改定日　　令和元年9月1日

株式会社ネクスト・オカモト
代表取締役 水田 太貴

４．環境管理組織体制



環境管理システム　役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・代表者による全体評価と見直し実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、ＥＡ２１委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	・自部門における環境方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・自部門に関係する環境活動計画の実施、達成状況報告 ・自部門に関係する緊急事態訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

５．環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「２０１７年版エコアクション２１ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

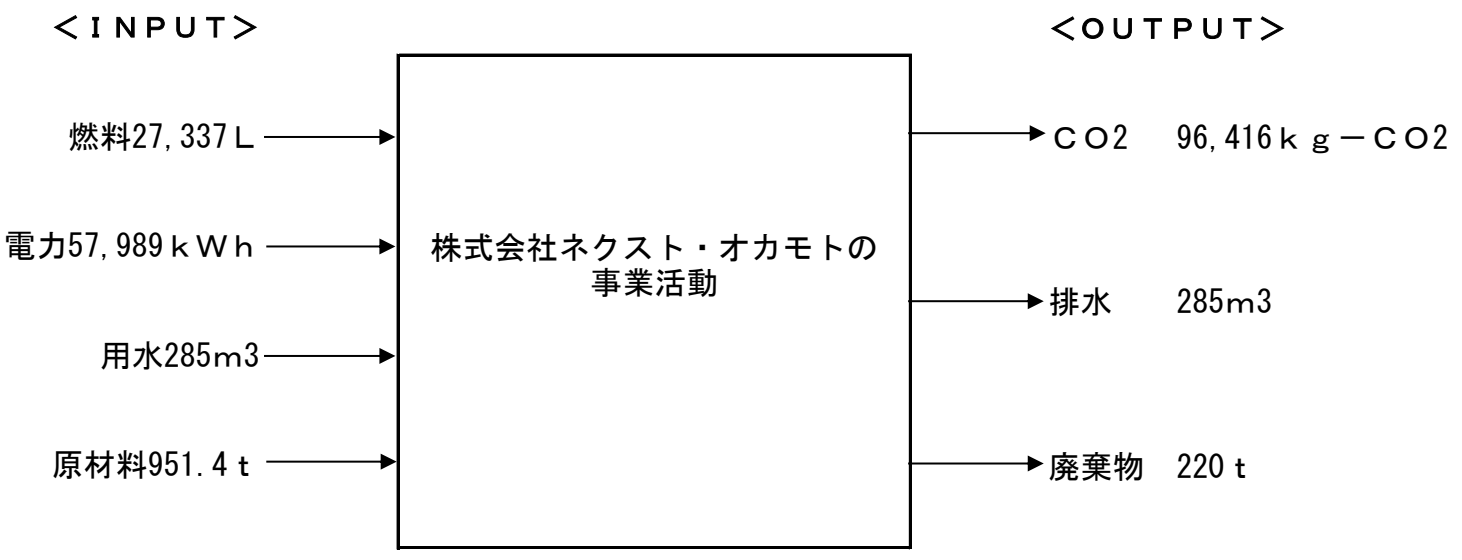
＜全体概況＞

〇燃料使用量、電力使用量については、環境目標に対して大幅な改善が見られました。
　この結果、二酸化炭素排出量の大幅な削減ができました。

〇エネルギー使用量については年間使用量を社員に配布し、使用量削減の意識掛けを行っています。

〇電力使用量の削減については、事務所照明のＬＥＤ化を行いました。

＜株式会社ネクスト・オカモトの物質フロー＞（２０２２年度）



６．環境経営目標

（１）単年度目標　　（２０２２年度）

項目	総量･原単位	単位	基準年 2018年度 2017.7-2018.6	２０２２年度 目標 2021.7-2022.6
売上高		百万円	2,574.000	
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	21,321.000	21,100.000
	原単位	(ℓ/百万円)	8.283	8.200
軽油使用量	総量	(ℓ)	8,877.000	8,800.000
	原単位	(ℓ/百万円)	3.449	3.400
ガス使用量	総量	(m3)	39.000	38.600
	原単位	(kg/百万円)	0.015	0.015
電力使用量	総量	(kWh)	81,155.000	80,300.000
	原単位	(kWh/百万円)	31.529	31.200
CO_2 排出量	総量	(kg－CO_2)	127,774.000	126,500.000
	原単位	(kg－CO2/百万円)	49.640	49.100
用水使用量	総量	(m^3)	538.000	530.000
	原単位	(m3/百万円)	0.209	0.200
産業廃棄物排出量	総量	(t)	222.000	220.000
	原単位	(t/百万円)	0.086	0.130
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	50.000	50.500
グリーン購入	総量	(%)	42.600	44.000
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	5件/5件　100	5件/5件　100

＊１．電力のCO_2発生量については、電気事業者別のCO_2排出係数
（2018年 12月27日公表）の四国電力の調整後排出係数（0.535kg－CO_2／kWh）を使用した。

＊２．グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）

＊３．環境負荷の少ない工事

〇低ホルムアルデヒドの施工

〇環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用

〇太陽光発電住宅、高気密高断熱住宅の設置

〇エコロジー、バリアフリーの推奨

＊４．目標値については毎年1%程度の削減を目標値として計算する。

（２）中長期目標

項目	総量･原単位	単位	２０１８年度 実績（基準年）	２０２３年度 目標	２０２４年度 目標	２０２５年度 目標
売上高		百万円	2,574.000			
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	21,321.000	20,900.000	20,700.000	20,500.000
	原単位	(ℓ/百万円)	8.283	8.100	8.000	7.900
軽油使用量	総量	(ℓ)	8,877.000	8,700.000	8,600.000	8,500.000
	原単位	(ℓ/百万円)	3.449	3.400	3.300	3.300
ガス使用量	総量	(m3)	39.000	38.200	37.800	37.500
	原単位	(kg/百万円)	0.015	0.015	0.015	0.015
電力使用量	総量	(kWh)	81,155.000	79,600.000	78,800.000	78,000.000
	原単位	(kWh/百万円)	31.529	30.900	30.600	30.300
CO_2 排出量	総量	(kg－CO_2)	127,774.000	125,300.000	124,000.000	122,800.000
	原単位	(kg－CO2/百万円)	49.640	48.700	48.200	47.700
用水使用量	総量	(m^3)	538.000	525.000	520.000	515.000
	原単位	(m3/百万円)	0.209	0.200	0.200	0.200
産業廃棄物排出量	総量	(t)	222.000	217.000	215.000	213.000
	原単位	(t/百万円)	0.086	0.130	0.130	0.130
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	50.000	51.000	51.500	52.000
グリーン購入	総量	(%)	42.600	44.500	45.000	45.500
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	5件/5件　100	5件/5件　100	5件/5件　100	5件/5件　100

７．環境経営計画

（ 2022 年度）

期間：　２０２１年　７月　～　２０２２年　６月

項目		活動内容	担当者	期間
ＣＯ2 排出量削減	燃料使用量削減	○重機、車両のアイドリングストップ	全社員	2021/7～2022/6
		○車両の急発進・急停止・急加速の禁止	全社員	2021/7～2022/6
		○最短経路の車の利用	全社員	2021/7～2022/6
	電力使用量削減	○昼休み・帰宅時の消灯	全社員	2021/7～2022/6
		○空調機の温度設定（夏２８℃、冬１８℃）	全社員	2021/7～2022/6
		○不使用時のパソコンの電源ＯＦＦ	全社員	2021/7～2022/6
		○パソコンモニターにスクリーンセーバー設定	全社員	2021/7～2022/6
用水使用量削減（排水量削減）		○食器等のまとめ洗い	全社員	2021/7～2022/6
		○使用済みの残り水の利用（樹木への散水等）	全社員	2021/7～2022/6
		○車両の洗車時に水の流しっ放しにしない。	全社員	2021/7～2022/6
廃棄物削減	一般廃棄物	○コピー用紙の裏紙使用	全社員	2021/7～2022/6
		○印刷前の文章チェック	全社員	2021/7～2022/6
	産業廃棄物	○産業廃棄物の分別徹底	全社員	2021/7～2022/6
		○材料取りを効率的に行い、端材の発生量を抑制する。	全社員	2021/7～2022/6
グリーン購入		○エコマーク、グリーンマーク商品を選定して購入	全社員	2021/7～2022/6
		○詰め替え商品の購入	全社員	2021/7～2022/6
		○ＥＡ２１取得事業者との取引実施	全社員	2021/7～2022/6
化学物資排出量削減		○化学物質とならない材料の選定	工事担当者	2021/7～2022/6
		○事前に使用量を確認し、無駄な使用は行わない	工事担当者	2021/7～2022/6
		○化学物質使用量削減の為の工法検討実施	工事担当者	2021/7～2022/6
環境負荷の少ない工事		○低騒音、排出ガス対策型機械の使用	工事担当者	2021/7～2022/6
		○環境負荷の少ない材料（ﾘｻｲｸﾙ材）の使用	工事担当者	2021/7～2022/6
		○使用機械の整備を行い、長く設備を使用する	工事担当者	2021/7～2022/6
		○工程見直しによる稼働率の向上	工事担当者	2021/7～2022/6

８．環境経営目標の実績

（１）本年度実績

項目	総量･原単位	単位	基準年 2018年度 2017.7-2018.6	２０２２年度 目標 2021.7-2022.6	２０２２年度 実績 2021.7-2022.6	実績値／目標値 （%）	評価
売上高		百万円	2,574.000		2,226.000		
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	21,321.000	21,100.000	18,249.670	86.491	○
	原単位	(ℓ/百万円)	8.283	8.200	8.198		
軽油使用量	総量	(ℓ)	8,877.000	8,800.000	9,086.910	103.260	×
	原単位	(ℓ/百万円)	3.449	3.400	4.082		
ガス使用量	総量	(m3)	39.000	38.600	6.800	17.617	○
	原単位	(kg/百万円)	0.015	0.015	0.003		
電力使用量	総量	(kWh)	81,155.000	80,300.000	57,989.000	72.215	○
	原単位	(kWh/百万円)	31.529	31.200	26.051		
CO_2 排出量	総量	(kg－CO_2)	127,774.000	126,500.000	96,416.340	76.218	○
	原単位	(kg－CO2/百万円)	49.640	49.100	43.314		
用水使用量	総量	(m^3)	538.000	530.000	285.000	53.774	○
	原単位	(m3/百万円)	0.209	0.200	0.128		
産業廃棄物排出量	総量	(t)	222.000	220.000	220.000	100.000	○
	原単位	(t/百万円)	0.086	0.130	0.099		
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	50.000	50.500	76.100		○
グリーン購入量	総量	(%)	42.600	44.000	50.590	114.977	○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	5件/5件　100	5件/5件　100	7件/7件　100		○

＊１．電力のCO_2発生量については、電気事業者別のCO_2排出係数
（2018年 12月27日公表）の四国電力の調整後排出係数（0.535kg－CO_2／kWh）を使用した。

＊２．グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）

＊３．環境負荷の少ない工事

○低ホルムアルデヒドの施工

○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用

○太陽光発電住宅、高気密高断熱住宅の設置

○エコロジー、バリアフリーの推奨

＊４．目標値については毎年1%程度の削減を目標値として計算する。

＜環境経営目標未達成等理由＞

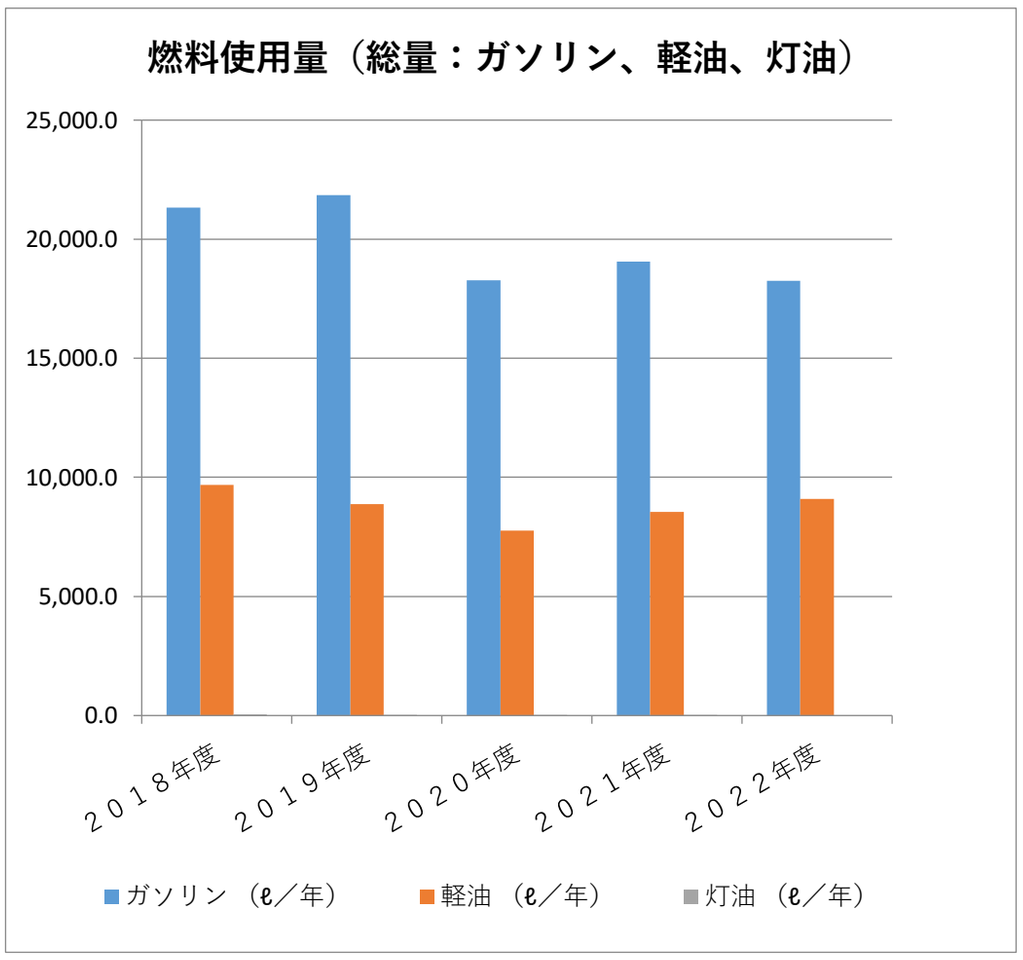
○軽油の使用量：遠方の物件が増え、材料搬入車両（トラック）の走行距離が増えた為未達成となった。

＜過去の実績＞

項目	総量・原単位	単位	２０１８年度 実績（基準年）	２０１９年度 実績	２０２０年度 実績	２０２１年度 実績	２０２２年度 実績
売上高		百万円	2,574.000	2,548.000	2,570.000	1,903.000	2,226.000
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	21,321.000	21,858.000	18,269.500	19,053.900	18,249.670
	原単位	(ℓ/百万円)	8.283	8.578	7.109	10.013	8.198
軽油使用量	総量	(ℓ)	8,877.000	8,382.000	7,759.500	8,547.800	9,086.910
	原単位	(ℓ/百万円)	3.449	3.290	3.019	4.492	4.082
ガス使用量	総量	(m3)	39.000	35.000	8.300	7.700	6.800
	原単位	(kg/百万円)	0.015	0.014	0.003	0.004	0.003
電力使用量	総量	(kWh)	81,155.000	73,963.000	58,924.000	51,621.000	57,989.000
	原単位	(kWh/百万円)	31.529	29.028	22.928	27.126	26.051
CO_2 排出量	総量	(kg－CO_2)	127,774.000	122,777.000	93,947.000	93,892.000	96,416.340
	原単位	(kg－CO2/百万円)	49.640	48.186	36.555	49.339	43.314
用水使用量	総量	(m^3)	538.000	2,014.000	624.000	315.000	285.000
	原単位	(m3/百万円)	0.209	0.790	0.243	0.166	0.128
産業廃棄物排出量	総量	(t)	222.000	161.000	545.000	234.000	220.000
	原単位	(t/百万円)	0.086	0.063	0.212	0.123	0.099
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)				50.200	76.100
グリーン購入	総量	(%)	42.600	79.800	47.300	58.200	50.590
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	5件/5件　100	5件/5件　100	6件/6件　100	8件/8件　100	7件/7件　100

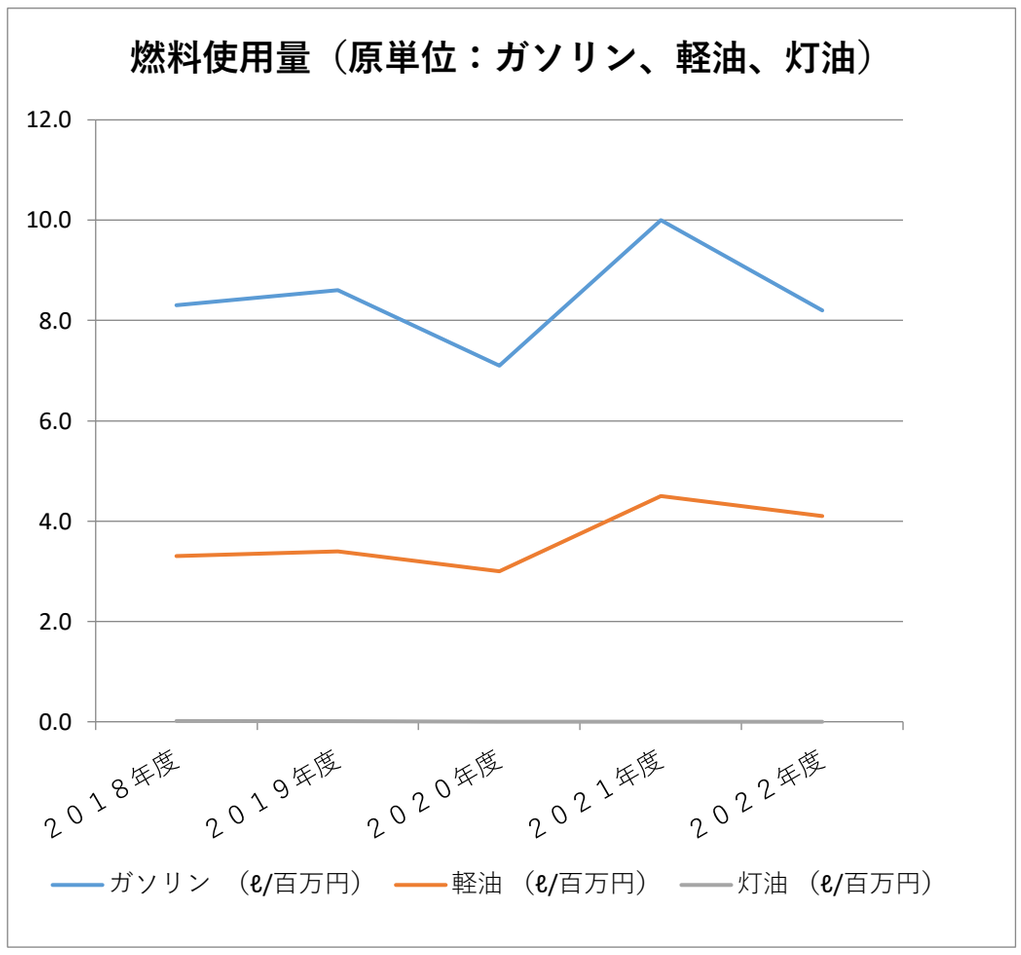
燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）
単位:ℓ／年

年度	ガソリン（ℓ／年）	軽油（ℓ／年）	灯油（ℓ／年）
２０１８年度	21,321.0	9,673.0	39.0
２０１９年度	21,858.0	8,877.0	35.0
２０２０年度	18,269.5	7,759.5	8.3
２０２１年度	19,053.9	8,547.8	7.7
２０２２年度	18,249.7	9,086.9	0.0



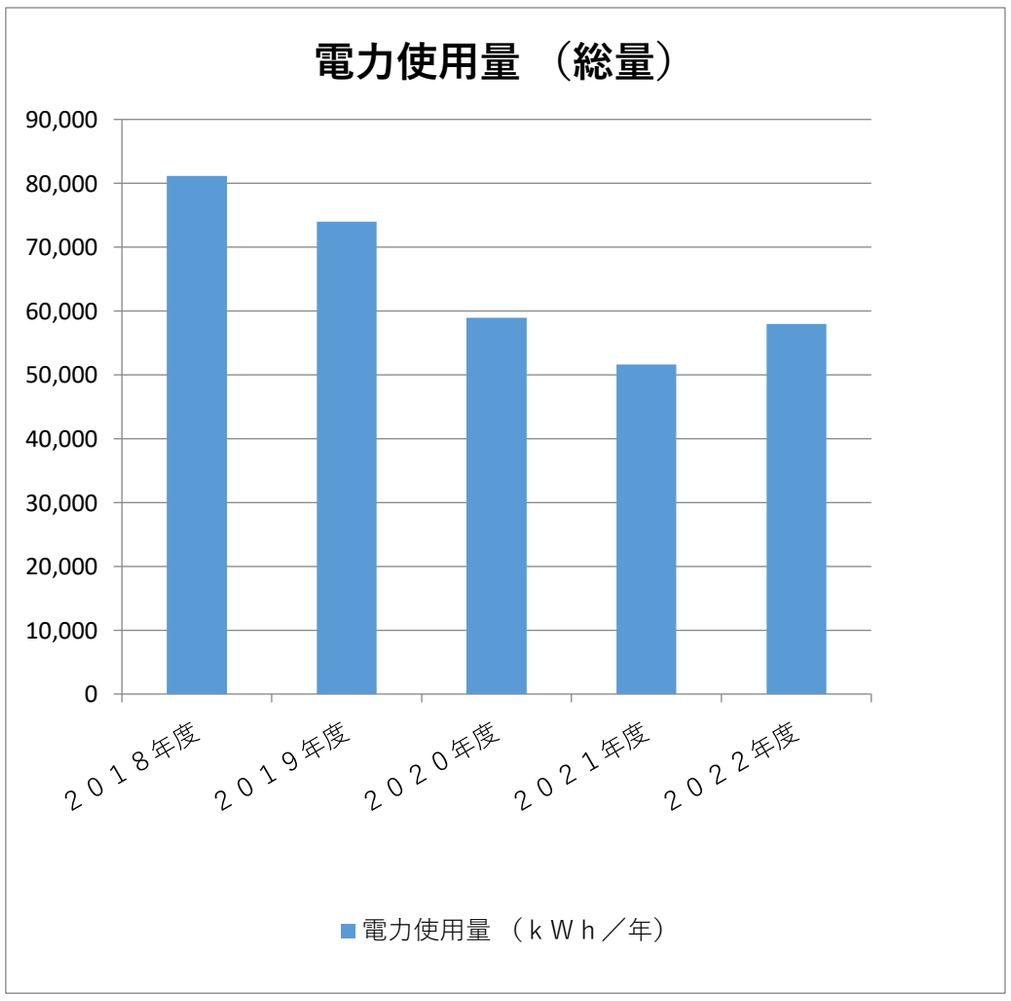
燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）
単位:ℓ／百万円

年度	ガソリン（ℓ/百万円）	軽油（ℓ/百万円）	灯油（ℓ/百万円）
２０１８年度	8.3	3.3	0.015
２０１９年度	8.6	3.4	0.014
２０２０年度	7.1	3.0	0.003
２０２１年度	10.0	4.5	0.004
２０２２年度	8.2	4.1	0.000



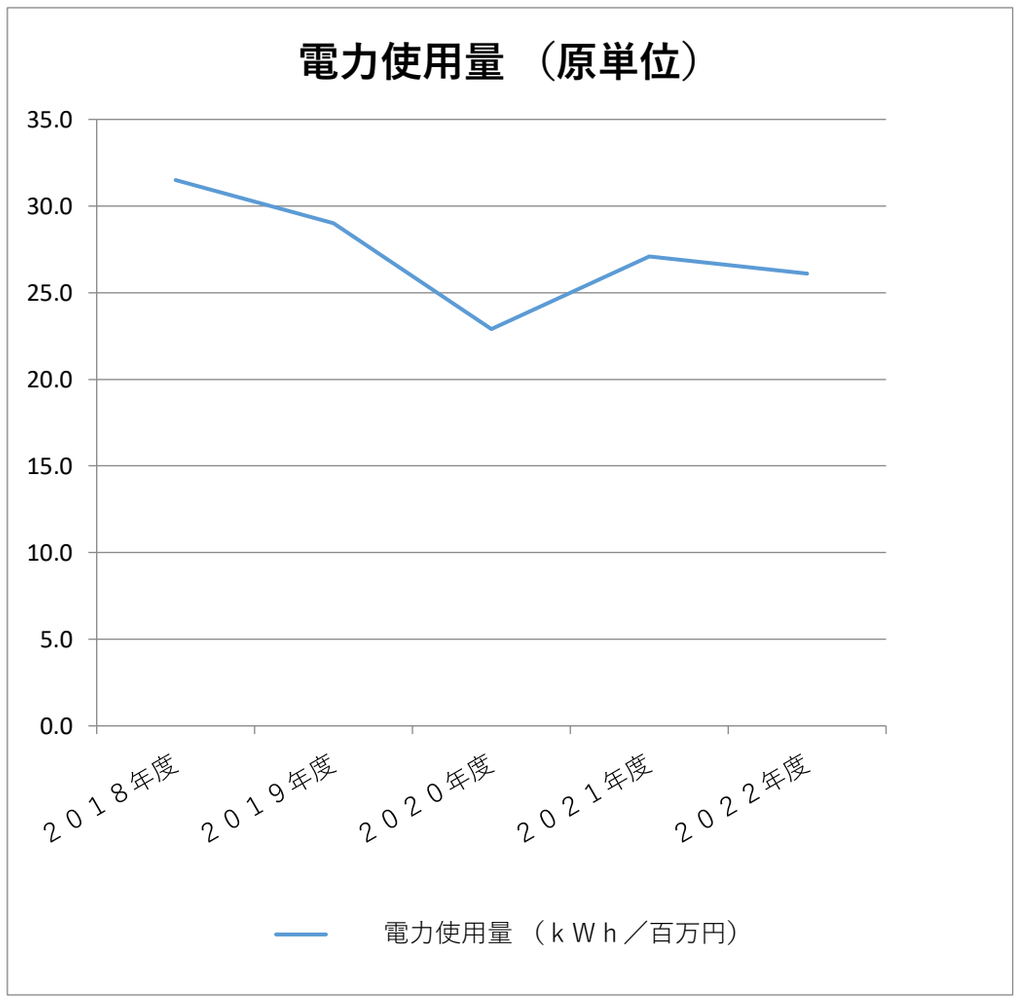
電力使用量(総量:kWh／年)

年度	電力使用量（ｋＷｈ／年）
２０１８年度	81,155
２０１９年度	73,963
２０２０年度	58,924
２０２１年度	51,621
２０２２年度	57,989



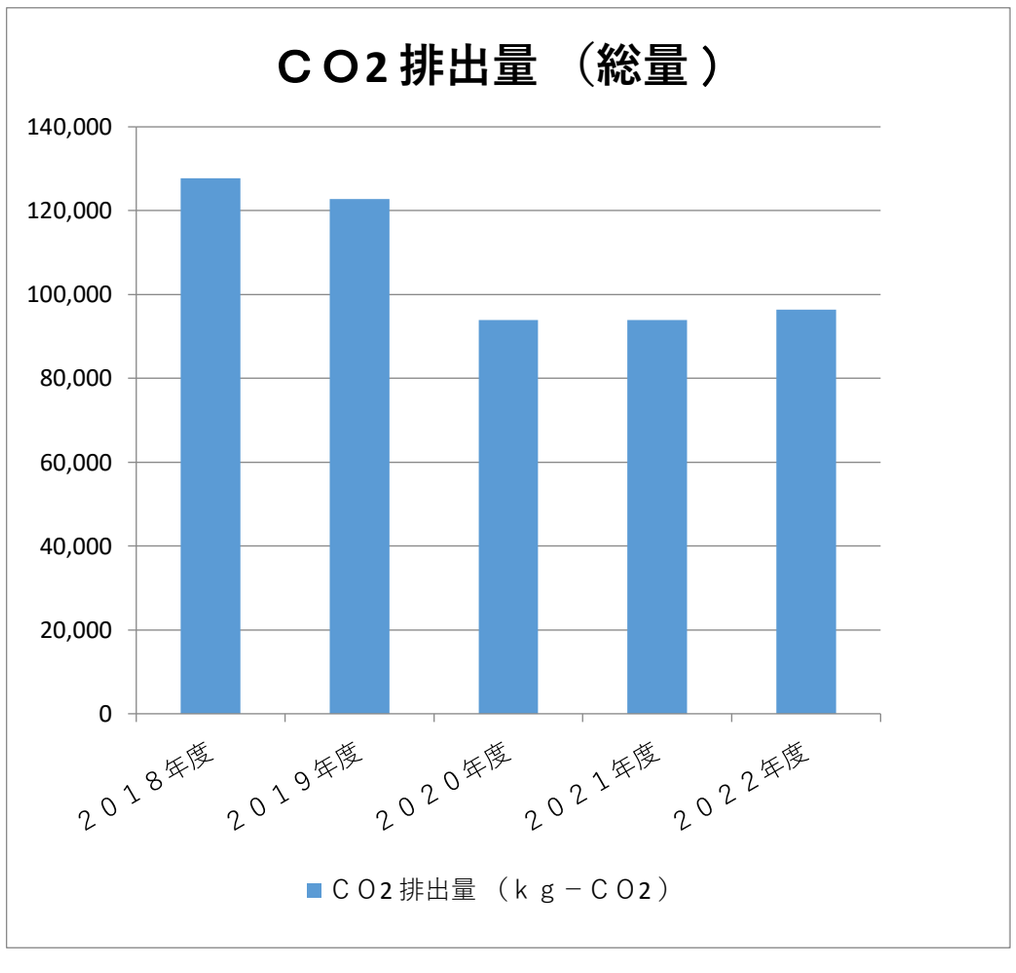
電力使用量(原単位:kWh／百万円)

年度	電力使用量（ｋＷｈ／百万円）
２０１８年度	31.5
２０１９年度	29.0
２０２０年度	22.9
２０２１年度	27.1
２０２２年度	26.1



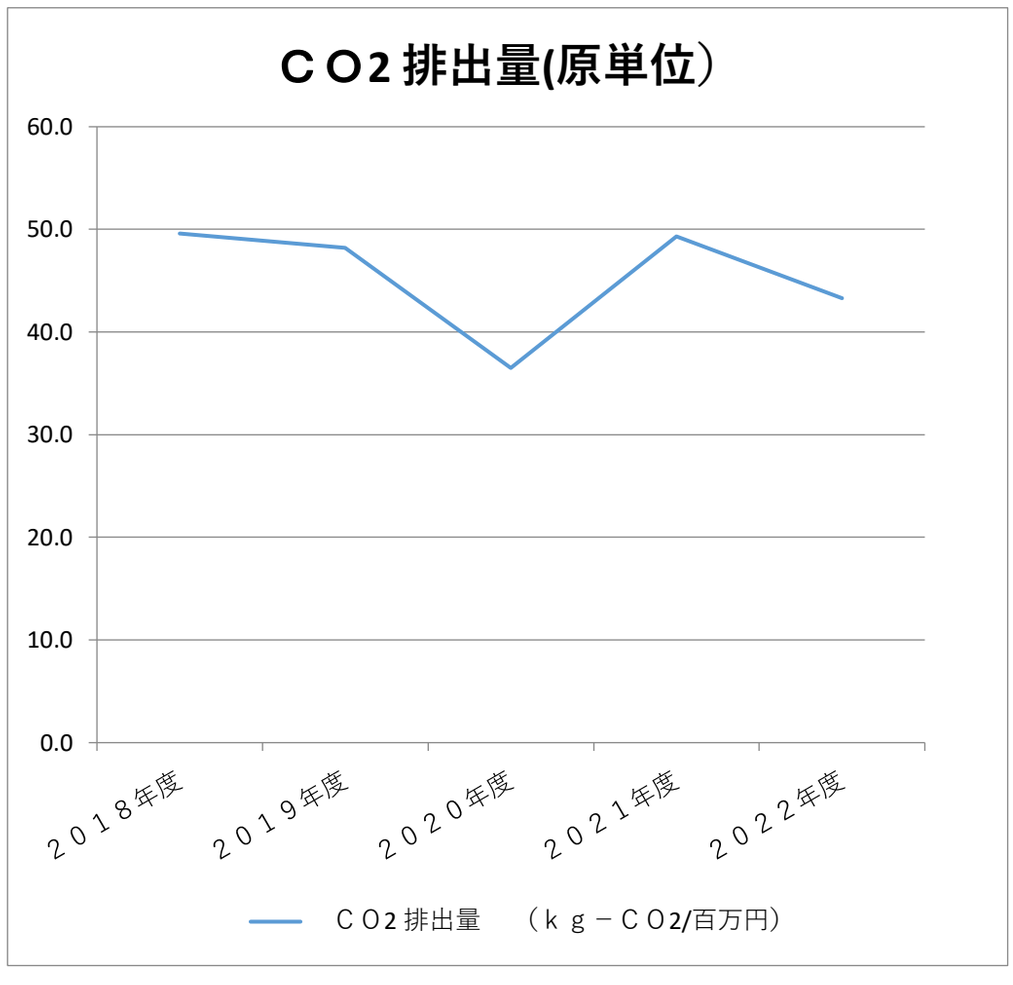
ＣＯ$_2$ 排出量（総量：（ｋｇ－ＣＯ2）

年度	ＣＯ2 排出量 （ｋｇ－ＣＯ2 ）
２０１８年度	127,774
２０１９年度	122,777
２０２０年度	93,947
２０２１年度	93,892
２０２２年度	96,416



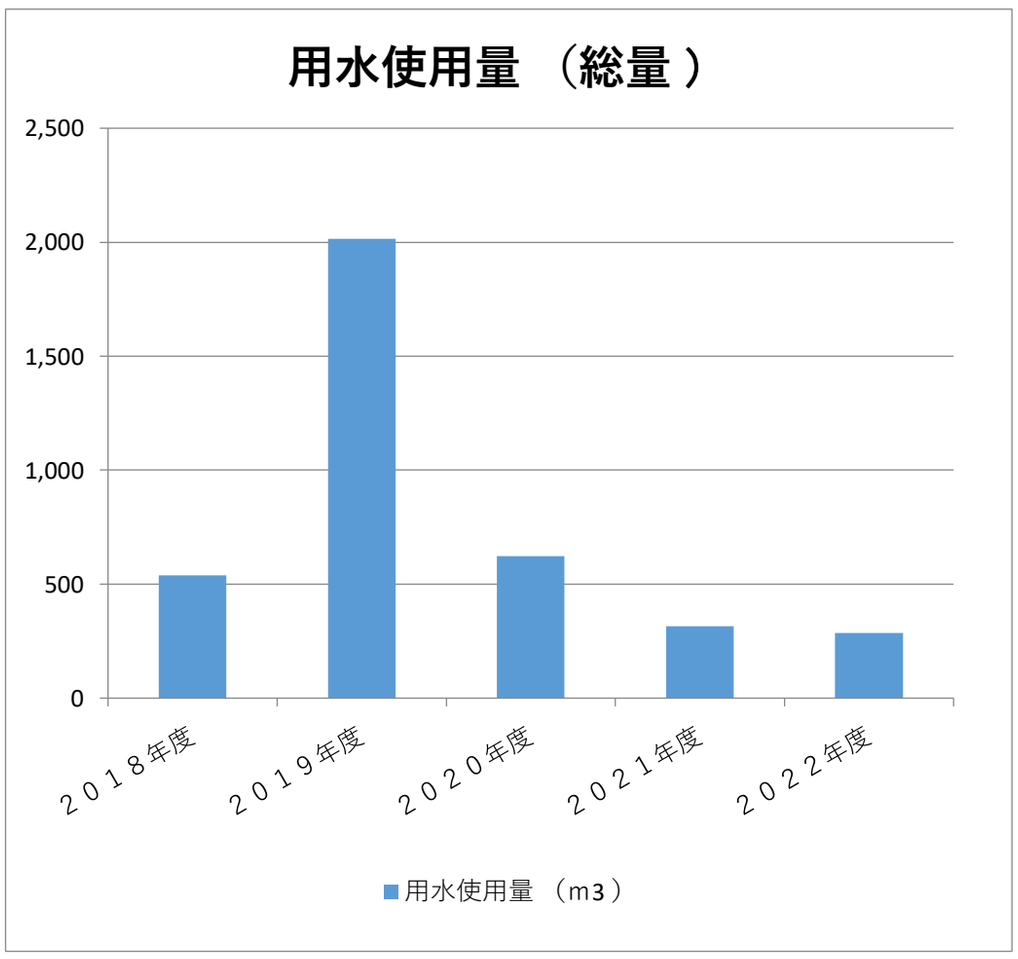
ＣＯ$_2$ 排出量（原単位：ｋｇ－ＣＯ2/百万円）

年度	ＣＯ2 排出量 （ｋｇ－ＣＯ2/百万円）
２０１８年度	49.6
２０１９年度	48.2
２０２０年度	36.5
２０２１年度	49.3
２０２２年度	43.3



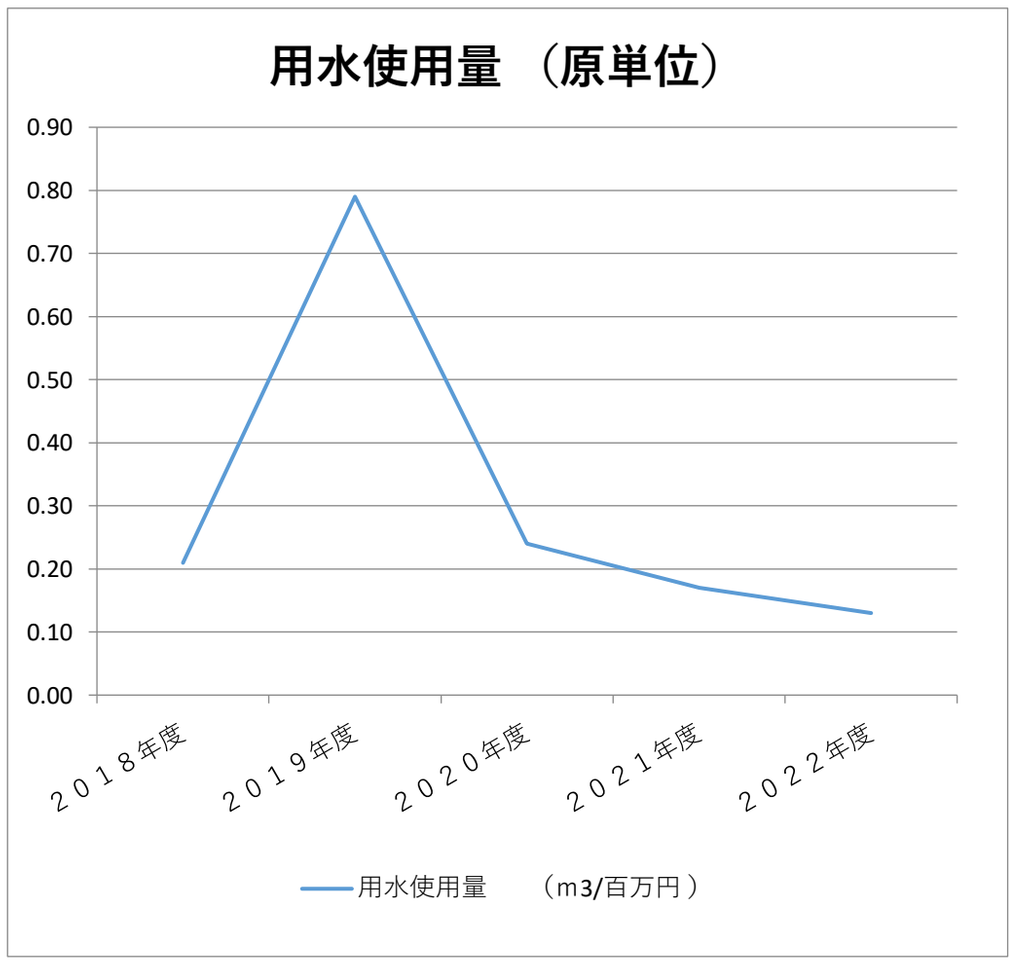
用水使用量(総量：m3)

年度	用水使用量 （m3 ）
２０１８年度	538
２０１９年度	2,014
２０２０年度	624
２０２１年度	315
２０２２年度	285



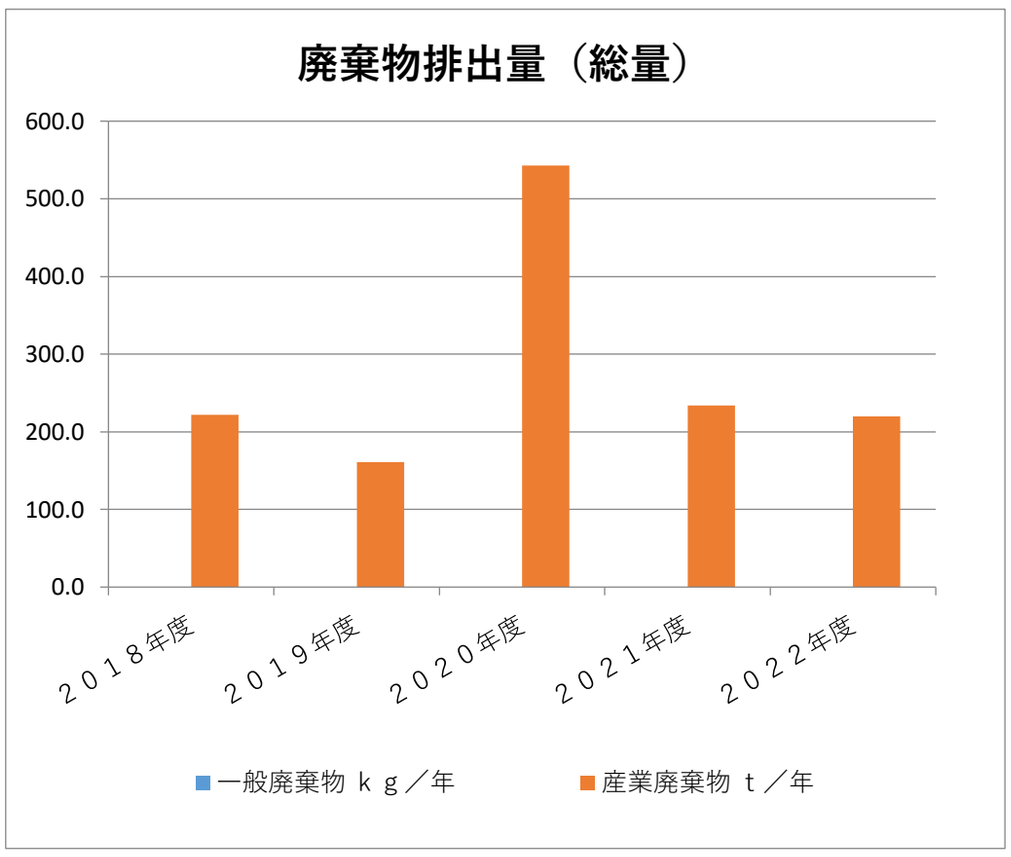
用水使用量(原単位：m3/百万円)

年度	用水使用量 （m3/百万円 ）
２０１８年度	0.21
２０１９年度	0.79
２０２０年度	0.24
２０２１年度	0.17
２０２２年度	0.13



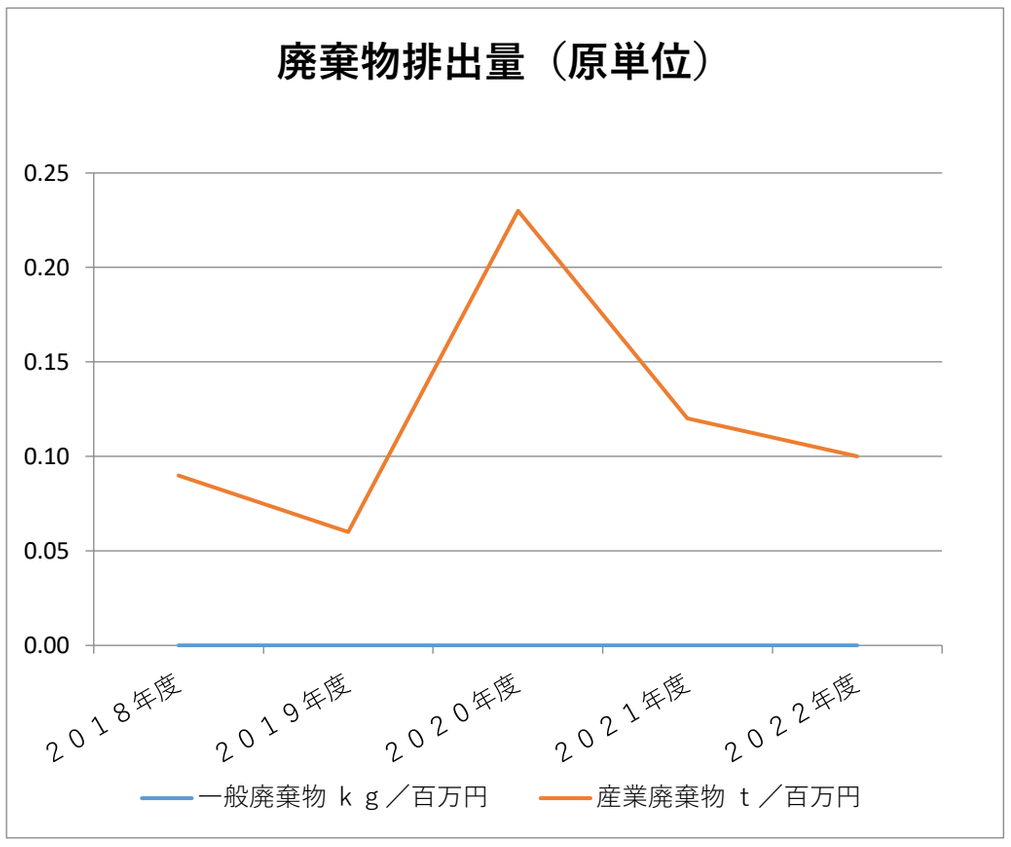
廃棄物排出量（総量：一般廃棄物、産業廃棄物）
単位：一般廃棄物　kg／年
単位：産業廃棄物　t／年

年度	一般廃棄物 kg／年	産業廃棄物 t／年
２０１８年度	0.0	222.0
２０１９年度	0.0	161.0
２０２０年度	0.0	543.0
２０２１年度	0.0	234.0
２０２２年度	0.0	220.0



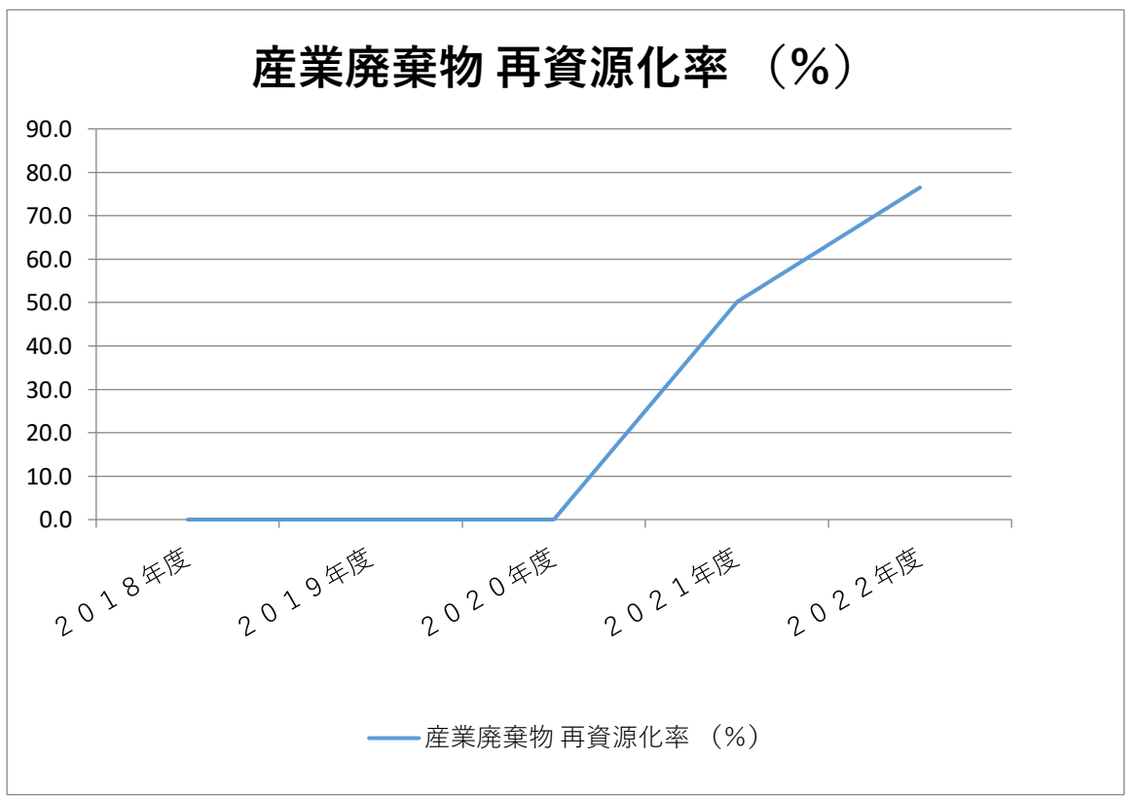
廃棄物排出量（原単位：一般廃棄物、産業廃棄物）
単位：一般廃棄物　kg／百万円
単位：産業廃棄物　t／百万円

年度	一般廃棄物 kg／百万円	産業廃棄物 t／百万円
２０１８年度	0.00	0.09
２０１９年度	0.00	0.06
２０２０年度	0.00	0.23
２０２１年度	0.00	0.12
２０２２年度	0.00	0.10



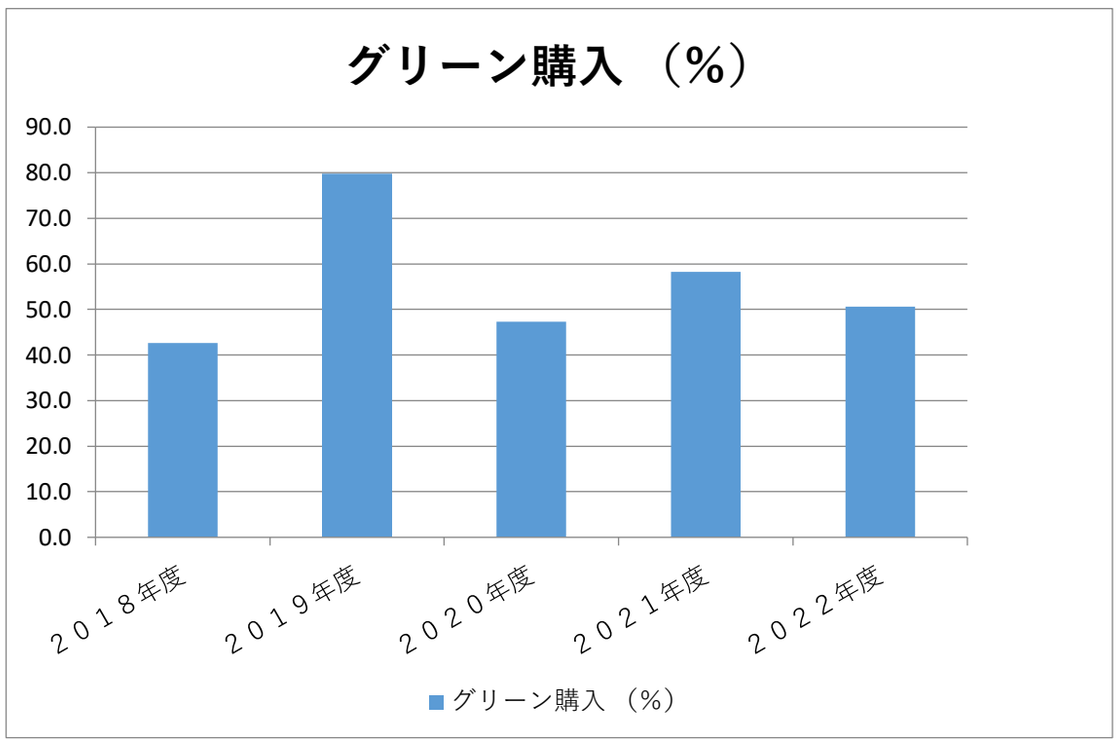
産業廃棄物再資源化率（%）

年度	産業廃棄物 再資源化率 （%）
２０１８年度	0.0
２０１９年度	0.0
２０２０年度	0.0
２０２１年度	50.2
２０２２年度	76.5



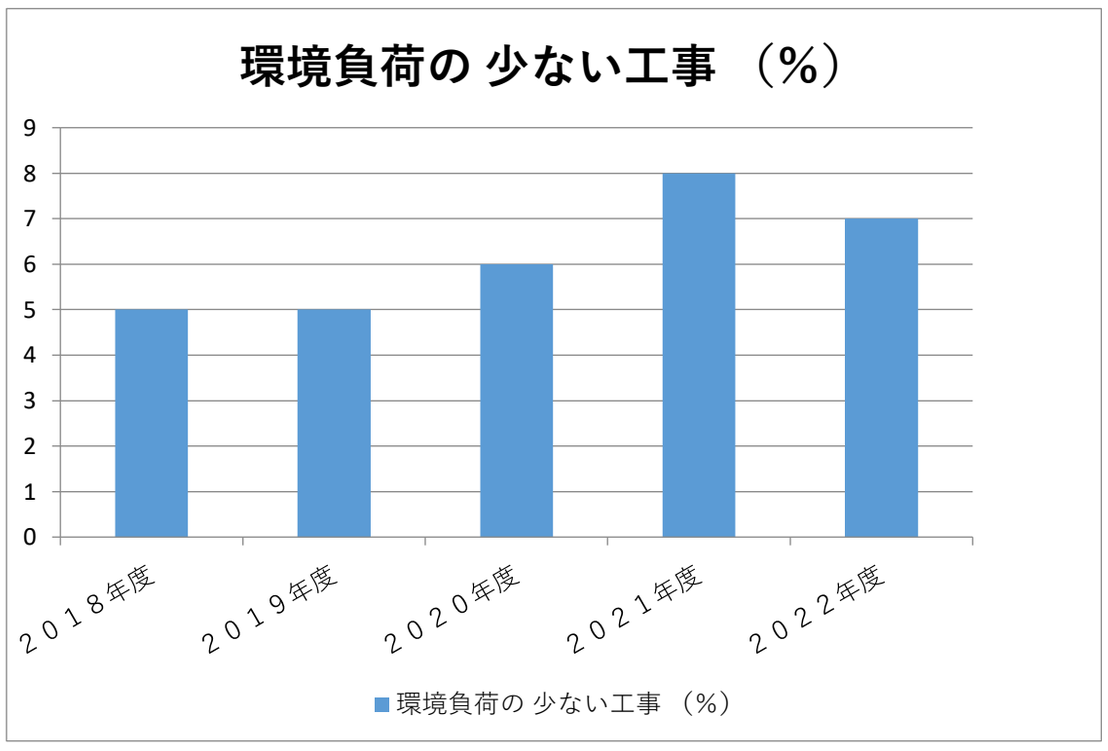
グリーン購入（%）

年度	グリーン購入（%）
２０１８年度	42.6
２０１９年度	79.8
２０２０年度	47.3
２０２１年度	58.2
２０２２年度	50.6



環境負荷の少ない工事（%）

年度	環境負荷の少ない工事（%）
２０１８年度	5
２０１９年度	5
２０２０年度	6
２０２１年度	8
２０２２年度	7



９．環境経営計画の取組結果とその評価

期間：　２０２１年　７月　～　２０２２年　６月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
ＣＯ2 排出量削減	燃料使用量削減	○重機、車両のアイドリングストップ	・左記の取組は概ね出来ている。	○	・問題ない。
		○車両の急発進・急停止・急加速の禁止			
		○最短経路の車の利用			
	電力使用量削減	○昼休み・帰宅時の消灯	・消灯、パソコン電源などできていない社員もいるため電気使用量はまだ削減出来そう。	○	・問題ない。
		○空調機の温度設定（夏２８℃、冬１８℃）			
		○不使用時のパソコンの電源ＯＦＦ			
		○パソコンモニターにスクリーンセーバー設定			
用水使用量削減（排水量削減）		○食器等のまとめ洗い	・左記の取組は概ね出来ている。	○	・問題ない。
		○使用済みの残り水の利用（樹木への散水等）			
		○車両の洗車時に水を流しっ放しにしない			
廃棄物削減	一般廃棄物	○コピー用紙の裏紙使用	・左記の取組は概ね出来ているが端材の発生量は	○	・問題ない。
		○印刷前の文章チェック			
	産業廃棄物	○産業廃棄物の分別徹底			
		○材料取りを効率的に行い、端材の発生量を抑制する			
グリーン購入		○ｴｺﾏｰｸ、ｸﾞﾘｰﾝﾏｰｸ商品を選定して購入	・左記の取組は概ね出来ている。	○	・問題ない。
		○詰め替え商品の購入			
		○ＥＡ２１取得事業者との取引実施			
化学物資排出量削減		○化学物質とならない材料の選定	・左記の取組は概ね出来ている。	○	・問題ない。
		○事前に使用量を確認し、無駄な使用は行わない			
		○化学物質使用量削減の為の工法検討実施			
環境負荷の少ない工事		○低騒音、排出ガス対策型機械の使用	・左記の取組は概ね出来ている。	○	・問題ない。
		○環境負荷の少ない材料（ﾘｻｲｸﾙ材）の使用			
		○使用機械の整備を行い、長く設備を使用する			
		○工程見直しによる稼働率の向上			

１０．次年度の取組内容

（１）環境経営目標

（１）単年度目標　　（２０２３年度）

項目	総量･原単位	単位	基準年 ２０１８年度 2017.7-2018.6	２０２３年度 目標 2022.7-2023.6
売上高		百万円	2,574	
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	21,321.0	20,900.0
	原単位	(ℓ/百万円)	8.3	8.1
軽油使用量	総量	(ℓ)	8,877.0	8,700.0
	原単位	(ℓ/百万円)	3.4	3.4
ガス使用量	総量	(m3)	39.0	38.2
	原単位	(kg/百万円)	0.015	0.015
電力使用量	総量	(kWh)	81,155.0	79,600.0
	原単位	(kWh/百万円)	31.5	30.9
CO_2 排出量	総量	(kg－CO_2)	127,774.0	125,300.0
	原単位	(kg－CO2/百万円)	49.6	48.7
用水使用量	総量	(m^3)	538.0	525.0
	原単位	(m3/百万円)	0.2	0.2
産業廃棄物排出量	総量	(t)	222.0	217.0
	原単位	(t/百万円)	0.1	0.1
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	50.0	51.0
グリーン購入	総量	(%)	42.6	44.5
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	5件/5件　100	5件/5件　100
環境美化活動	総量	(回)		

＊１．電力のCO_2発生量については、電気事業者別のCO_2排出係数
（2018年 12月27日公表）の四国電力の調整後排出係数（0.535kg－CO_2／kWh）を使用した。

＊２．グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）

＊３．環境負荷の少ない工事

〇低ホルムアルデヒドの施工

〇環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用

〇太陽光発電住宅、高気密高断熱住宅の設置

〇エコロジー、バリアフリーの推奨

＊４．目標値については毎年1%程度の削減を目標値として計算する。

（２）中長期目標

項目	総量･原単位	単位	２０１８年度 基準年	２０２４年度 目標	２０２５年度 目標	２０２６年度 目標
売上高		百万円	2,574			
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	21,321.0	20,700.0	20,500.0	20,300.0
	原単位	(ℓ/百万円)	8.3	8.0	8.0	7.9
軽油使用量	総量	(ℓ)	8,877.0	8,600.0	8,500.0	8,400.0
	原単位	(ℓ/百万円)	3.4	3.3	3.3	3.3
ガス使用量	総量	(m3)	39.0	37.8	37.5	37.1
	原単位	(kg/百万円)	0.015	0.015	0.015	0.014
電力使用量	総量	(kWh)	81,155.0	78,800.0	78,000.0	77,200.0
	原単位	(kWh/百万円)	31.5	30.6	30.3	30.0
CO_2 排出量	総量	(kg－CO_2)	127,774.0	124,000.0	122,800.0	121,600.0
	原単位	(kg－CO2/百万円)	49.6	48.2	47.7	47.2
用水使用量	総量	(m^3)	538.0	520.0	515.0	510.0
	原単位	(m3/百万円)	0.2	0.2	0.2	0.2
産業廃棄物排出量	総量	(t)	222.0	215.0	213.0	211.0
	原単位	(t/百万円)	0.1	0.1	0.1	0.1
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	50.0	50.0	50.0	50.0
グリーン購入	総量	(%)	42.6	45.0	45.5	46.0
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	5件/5件　100	5件/5件　100	5件/5件　100	5件/5件　100
環境美化活動	総量	(回)				

１０．次年度の取組内容

（２）環境経営計画

（ 2023 年度）

期間：　２０２２年　７月　～　２０２３年　６月

項目		活動内容	担当者	期間
CO_2 排出量削減	燃料使用量削減	○重機、車両のアイドリングストップ	全社員	2022/7～2023/6
		○車両の急発進・急停止・急加速の禁止	全社員	2022/7～2023/6
		○最短経路の車の利用	全社員	2022/7～2023/6
	電力使用量削減	○昼休み・帰宅時の消灯	全社員	2022/7～2023/6
		○空調機の温度設定（夏２８℃、冬１８℃）	全社員	2022/7～2023/6
		○不使用時のパソコンの電源ＯＦＦ	全社員	2022/7～2023/6
		○パソコンモニターにスクリーンセーバー設定	全社員	2022/7～2023/6
用水使用量削減（排水量削減）		○食器等のまとめ洗い	全社員	2022/7～2023/6
		○使用済みの残り水の利用（樹木への散水等）	全社員	2022/7～2023/6
		○車両の洗車時に水を流しっ放しにしない	全社員	2022/7～2023/6
廃棄物削減	一般廃棄物	○コピー用紙の裏紙使用	全社員	2022/7～2023/6
		○印刷前の文章チェック	全社員	2022/7～2023/6
		○廃棄物の分別徹底、再資源化事業者に委託	全社員	2022/7～2023/6
	産業廃棄物	○産業廃棄物の分別徹底、再資源化事業者に委託	全社員	2022/7～2023/6
		○材料取りを効率的に行い、端材の発生量を抑制する	全社員	2022/7～2023/6
グリーン購入		○エコマーク、グリーンマーク商品を選定して購入	全社員	2022/7～2023/6
		○詰め替え商品の購入	全社員	2022/7～2023/6
		○ＥＡ２１取得事業者との取引実施	全社員	2022/7～2023/6
化学物資排出量削減		○化学物質とならない材料の選定	工事担当者	2022/7～2023/6
		○事前に使用量を確認し、無駄な使用は行わない	工事担当者	2022/7～2023/6
		○化学物質使用量削減の為の工法検討実施	工事担当者	2022/7～2023/6
環境負荷の少ない工事		○低騒音、排出ガス対策型機械の使用	工事担当者	2022/7～2023/6
		○環境負荷の少ない材料（ﾘｻｲｸﾙ材）の使用	工事担当者	2022/7～2023/6
		○使用機械の整備を行い、長く設備を使用する	工事担当者	2022/7～2023/6
		○工程見直しによる稼働率の向上	工事担当者	2022/7～2023/6

１１．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

（１）環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

（環境関係法規）

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄の処理及び 清掃に関する法律	第３条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任 において適正に処理	必要時	環境事務局	○	2022/6/30
	第１２条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	総務	○	2022/6/30
	第１２条の １０、１１項	多量排出事業者（年間１，０００ｔ以上） の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	総務	今期 該当なし	2022/6/30
	第１２条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	総務	○	2022/6/30
	第１２条の三 ７項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事（高知県知事）への提出	年１回 毎年６月末	総務	○	2022/6/30
	第１４条	産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可 （５年毎に更新）	期限切れ	総務	○	2022/6/30
	規則第８条	保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦６０ｃｍ以上×横６０ｃｍ以上）	必要時	環境事務局	○	2022/6/30
資源の有効な利用の促進に 関する法律 （資源有効利用促進法）	第４条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、 木材等の減量化及びリサイクル	必要時	環境事務局	○	2022/6/30
建設工事に係る資材の 再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第５条	建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び 建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 建設資材廃棄物の再資源化により得られた 建設資材を使用する努力	必要時	環境事務局	○	2022/6/30
	第９条	分別解体等の実施 解体：床面積８０m2 以上 新築・増築：床面積５００m2 以上	必要時	環境事務局	今期 該当なし	2022/6/30
	第１０条	対象建設工事は７日前までに 都道府県知事に届出				
騒音規制法	第１４条	特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始７日前までに市町村長に届出）	必要時	現場担当者	今期 該当なし	2022/6/30
振動規制法	第１４条	特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始７日前までに市町村長に届出）	必要時	現場担当者	今期 該当なし	2022/6/30
大気汚染防止法 （解体工事）	第１８条 の１５	解体等工事受注者は、石綿使用の有無（全て の石綿含有建材）について事前に調査し、発注 者へ調査結果を書面で説明する。	必要時	現場担当者	今期 該当なし	2022/6/30
	第１８条 の１７	特定粉じん作業開始の１４日前までに 都道府県知事に届出 解体工事：床面積８０m2 以上 建築物改造：請負代金　１００万円以上				
	第１８条 の２０	特定工事の元請け業者若しくは下請け業者は 特定粉じん排出作業において作業基準を遵守				
	第１８条 の２２	元請業者の下請に対する粉じん排出作業を 適切に行うよう指導				
	第１８条 の２３	特定粉じん作業完了後、結果を遅滞なく 発注者に書面で報告と記録の作成保管				

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
労働安全衛生法 （解体工事）	第８８条	解体工事の工事計画書を労働基準監督署長 宛に提出（着工１４日前までに）	必要時	現場担当者	今期 該当なし	2022/6/30
	石綿則第５条	建築物解体等作業届を労働基準監督署長 宛に提出（作業前）	必要時			
浄化槽法	第５条	浄化槽の設置の届出	着工２１日前	現場担当者	○	2022/6/30
下水道法	第１０条	下水道に下水を流入させる為の排水管、 排水渠等の設置	必要時	現場担当者	○	2022/6/30
消防法	第８条	防火管理者の選任、消防計画の作成 （遅滞なく所轄消防長又は消防署長に届出）	必要時	総務	○	2022/6/30
	第１７条の ３の２	消防用設備等設置届書の消防署への提出	着工１０日前	現場担当者	今期 該当なし	2022/6/30
フロン類の使用の合理化及び 管理の適正化に関する法律 （フロン排出抑制法）	第５条	エアコンの簡易点検	１回／３ケ月	総務	○	2022/6/30
水質汚濁防止法	第５条	特定施設の設置届 （施設の設置工事開始６０日前までに都道府県知事に届出）	必要時	現場担当者	該当なし	2022/6/30
	第７条	特定施設の構造等の変更の届出 （施設の設置工事開始６０日前までに都道府県知事に届出）	必要時	現場担当者	該当なし	2022/6/30
	第１２条	事業所排出口における排水基準に適合しない 排出水の排出制限	必要時	現場担当者	該当なし	2022/6/30
	第１４条	排出水の汚染状態の測定等 （日平均排水量） 400m3以上　：毎日 200m3以上400m3未満　：１回／週 100m3以上200m3未満　：１回／２週 50m3以上100m3未満　：１回／３０日	必要時	現場担当者	該当なし	2022/6/30
	第１４条の四	事業者の責務 公共用水域又は地下水の水質汚濁防止の ための必要な措置の実施	必要時			

（条例）

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第６条	事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	現場担当者	○	2022/6/30
高知市環境基本条例	第５条	事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	現場担当者	○	2022/6/30

（２）環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

２０２１年　７月より　２０２２年　６月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

作成年月日　　２０２２年　８月 ２６日

代表者

１２．代表者による全体評価と見直しの結果

■定期見直し
□臨時見直し

見直しに必要な情報

環境管理責任者の報告及び改善提案

【取組状況の評価結果】

①環境関連法規制等の遵守状況

２０２１年７月より２０２２年６月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

②問題点の是正処置及び予防処置の状況

２０２１年７月より２０２２年６月まで、問題の点の是正処置及び予防処置となるものはありませんでした。

③前回までの代表者の指示事項への対応

特にありません。

＜改善提案＞

特にありません。

【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】

目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント （目標値、活動計画に対するコメント）
ガソリン使用量	○	○	
軽油使用量	×	○	
電力使用量	○	○	
CO2 排出量	○	○	
産業廃棄物排出量	○	○	
産業廃棄物再資源化率	○	○	
環境負荷の少ない工事	○	○	

＜改善提案＞

・前期と同様に、遠方・大型物件の影響があり、車両燃料の使用量が増えている。内容を見れば止む得ない部分もあるが、効率性・計画性のある搬入作業等をして頂き、引続き燃料削減に努めて頂きたい。

【周囲の変化の状況】

①外部コミュニケーション記録より

２０２１年７月より２０２２年６月まで、外部からの苦情及び要望はありませんでした。

②環境関連法規制等の動向他

当社における、環境関連法規の改定の対象となるものはありませんでした。

＜改善提案＞

特にありません。

代表者が自ら得た情報

・前期に引き続き、新型コロナウイルスによる影響が続いている。
業務の主な活動・講習会等の参加にも制限される状況が続き、情報が入りづらくなっている。加えて資材の調達・価格の高騰により仕入れ価格に影響を及ぼしている。こうした状況下の中でも、社内全体で積極的に環境負荷低減に配慮した活動を行い、固定費を削減出来る様に努めて頂きたい。

代表者による見直し

変更の必要性の有無・指示事項

【環境経営方針】

変更の必要性：　□有　　■無

・今一度、環境負荷の低減が目的である事を再度認識して頂き、引続き環境活動に積極的に取組んで頂きたい。

・新入社員にも教育及びコミニケーションを図り、環境負荷低減を浸透させる様にする事。

【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】

変更の必要性：　□有　　■無

・社員の平均年齢も若返ってきているが、新入社員の育成と継承をしっかりと行い、各々でエコアクションの活動を認識と意識をして頂き、取組んで頂きたい。

・来期も遠方での工事を受注しているので、今期の実績を再度見直し、来期へ繋げる様に体制を整え努力をして頂きたい。

【その他】

変更の必要性：　□有　　■無

エコアクション２１はシステムとして有効に機能している。

【総括】（環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載）

・全体的な、方針・目標の変更は無しとする。
社員同士の周知・確認の徹底をし、環境活動の確立・目標を達成出来る様に、引続き活動を継続して頂きたい。